

江戸川消防署との連携

一之江小における今年度の取組

江戸川消防署と連携した取組を実施しました。

1、2年	「はたらく消防写生会」	4月25日(月)
3年	「東京消防庁公式アプリのつかいかた」	6月29日(水)
4年	「水害から暮らしを守る」講演	12月5日(月)
5年	「防災教室」	6月10日(金)
6年	「AED講習会」	6月7日(火)

各学年の取組

1、2年生「はたらく消防の写生会」

毎年、実施している活動です。普段は、じっくりと見ることがない、赤くてカッコいい消防自動車。春の清々しい天気のもとで、写生会を行いました。写生会ですので絵をかくという図工的なめあてもありますが、もう一つ重要なものがあります。それは右写真にあるように、消防士さんとの触れ合いです。消防士さんに直接、質問をしたり、お話を聞いたりすることを通して、消防に関する児童の意識が高まりました。これは、その後の学習に、非常に貴重な機会となります。



【1、2年 消防写生会】

3年生「消防署の仕事を知ろう」

全校児童に配布されているタブレットに「東京消防庁公式アプリ」があります。アプリの使い方を教えていただきながら、消防の仕事についてお話を聞きました。消防の仕事は大きく分けて「火を消す」「命を救う」「災害を防ぐ」の3つがあることや、勤務体制、ポンプ車や救急車、はしご車の役割やつくり、救急相談センターについてなど、アプリをつかって視覚的にお話をさせていただきました。



【3年 消防署の仕事を知ろう】

4年「水害から暮らしを守る」講演

4年生の社会科の学習に「水害から暮らしを守る」があります。この単元の学習を深めるため、水害を防ぐ取組についてや、総合防災訓練や水防訓練の目的や内容に



【4年 水害から暮らしを守る】

ついて、講演をしていただきました。資料では、本校児童が住んでいる江戸川区の川の防波堤が決壊した場合の水災の様子CGなどがあり、児童は真剣にお話を聞いていました。また、実際の水災時にヘリコプターで救助している動画などもあり、消防士さんの仕事の重要性や大変さを実感することができました。

5年「防災教室」

毎年、5年生で実施している訓練です。①通報訓練②初期消火訓練③煙体験④起震車体験の4つの訓練を実施しています。本校在籍中に全員が体験し、いざという時に正しい行動ができるようにしています。

6年「AED体験講習」

毎年、水泳指導が始まる6月に、6年生と教員はAED講習を受けています。訓練用のAED機器から音声ガイドや信号が出され、緊張感をもって訓練に臨むことができます。



【5年 防災教室】



【6年 AED体験講習】

このように今年度は、全学年で江戸川消防署と連携をして防災教育を実施しました。消防士さんからのお話や触れ合いは、防災への知識が増えるばかりではなく、意識が高まります。継続的に実施することで、防災に対する総合的な理解が得られると考えています。

江戸川消防署 防災安全係住宅防火対策担当 係長 井上 達也 さんより

江戸川消防署では、区立一之江小学校と連携して、生徒に配置されている学習用タブレット端末と東京消防庁公式アプリ（デジタル教材）を活用した防災教育を実施しました。

また、小学校職員、PTA、すくすくスクール及び江戸川区地域防災課と連携した「防災イベント」や「水害から暮らしを守る」をテーマにした防災授業など、継続した総合防災教育を実施しました。

災害から身を守るためには、災害発生の恐れのある箇所及び災害時に取るべき行動等を「正しく知ること」、「日ごろから備えること」が大切です。

そして、「訓練の繰り返し」、「家族、地域の話し合い」が大切です。

さらに、災害による被害を軽減するためには、関係機関との連携した取組が重要です。

江戸川消防署では、マンスリー（毎月）、ウィークリー（毎週）、小規模発災型等の防火防災訓練を継続して実施しておりますので、ぜひ積極的に参加していただき、地域の防災力の向上を図っていただきたいと思います。

